

輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	北海道学生研究会 SCAN
事業名	地方創生の学びの場、展開・発展の場事業
課題テーマ	地域を担う人材育成、地域経済の活性化
事業提案の背景	<p>私たち SCAN は学生・企業・地域を結びつけることによって北海道の地域活性化へ貢献することを目的として設立され、地域活性化を進めるために様々な専門分野の視点で地域活性化につながる研究をしてきた伝統と実績があります。そして現政権以降、地方創生が強調され、その中で、自立的で持続的な社会の形成、人材確保、人材育成ということを目的とした、まち・ひと・しごと創生本部が設置され、5つの原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の重要性が再確認されました。しかし、そういった社会の創生を「誰が主体」となり、「どのような形」で行っていくのかは定まっていません。そこで今回、私たち SCAN が「誰が主体」となるべきなのか、「どのような形」を取るべきなのか、新しいモデルづくりをしようという背景のもと、今回事業を提案しました。</p>
事業目的	<p>本事業の目的は、①地域の課題について正面から向き合い、主体的に地域の課題を解決できる人材を育成すること、②釧路市への質の高い政策提言を実現し、地方創生の新たなモデルづくりをして、持続可能な社会を形成しようということ。</p>
事業概要	<p>a) 地方創生を題材とした学びの場事業は平成 27 年 11 月 21、22、23 日の 3 日間にわたり釧路公立大学にて開催した。b) 地方創生の展開・発展の場事業は平成 27 年 12 月 12 日に釧路公立大学にて開催した。どちらも地方創生の新たなモデルを形成するための重要なステージであり、最終的に「実践」へつなげるためにも、主体的に場の提供や支援を行った。</p>
事業展開	<p>a) 地方創生を題材とした学びの場事業については、参加者として中高生を中心メンバーとして大学生と共同で連携し、地域の課題やそれに対する自分たちの解決策を考えるなかで論理的思考力と、それを裏付けるために統計からのアプローチを通して分析力をつけ、意見を発表してもらう機会とする。</p> <p>b) 地方創生の展開・発展の場事業については、今年度で 6 回目を迎える、SCAN に所属する大学からの研究を発表し、蓄積する場である合同研究発表会を発展拡大して、釧路地域研究助成事業およびそれらを政策に結び付けるために釧路地域研究成果報告事業を執り行う。対象は大学生・大学院生（および研究者）。</p>

<p>成果目標の達成状況</p>	<p>a) 武修館高校、武修館中学校、北陽高校、景雲中学校より15名の小中学生が参加し、大学生と共に地域の実地調査や統計資料から見えた問題点や解決策を発表し、地域課題の発見とその解決策の提案を通して、論理的思考力と分析力の向上を図ることができた。(別添新聞記事資料参照) b) 札幌大学武者ゼミ、北海学園大学宮島ゼミ、釧路公立大学下山ゼミ、神野ゼミの4研究室が本事業に参加し、第6回合同研究発表会にて研究成果の発表を行い、今後の地方創生に繋がりを研究発表を行なった(別添第6回SCAN合同研究発表会報告集参照)。政策提言の実現化を目指した取り組みを行う研究室の選定においては釧路公立大学下山ゼミが条件付き採択され、今後釧路市都市経営課との連携を行なっていく。</p>
<p>波及効果の達成状況</p>	<p>現在地域を担う人材育成の教育プログラムにおいても、地域課題発見、主体的な解決策の視点が不足しており、継続して本取り組みを行うことで地域を担う人材育成に寄与する内容であった。さらに、その後の実践的な研究を行う場を設けることで、客観的で、科学的な検証に基づく、(主に市政に)地域政策への提言を今後も期待できる。</p>
<p>実施体制</p>	<p>SCAN組織は今年で6年目に入っており、安定した活動を続けている。そのSCANのメンバーよりプロジェクトリーダー(三浦明寛)を選出し、本事業を実施した。</p>
<p>連携した市担当課</p>	<p>a) 地方創生を題材とした学びの場事業は学校教育部総務課。 b) 地方創生の展開・発展の場事業は総合政策部都市経営課。</p>
<p>連携した市担当課が果たすべき役割</p>	<p>a) 学校教育部総務課については地元に着した地域人材育成の視点に基づき、事業企画の段階から担当課と申請者とが緊密に連携、相談し、実施に当たっても、必要に応じて協働する。具体的には、中高生の参加者確保の支援、SCANバトルの実施日程調整、学習会への参加と優勝したアイデアの周知と活用など。 b) 総合政策部都市経営課については、企画の段階から担当者と申請者とが連携、相談し、釧路地域研究助成事業で扱う、釧路市が抱える問題等の研究テーマの設定、また、優秀な研究を釧路地域の政策への提言に繋げるための計画調整。</p>

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
自己資金	68,287	通常 SCAN が執り行っている事業資金からの支出。
展開・発展の場の事業費にかかると協賛金	40,652	今年度の渉外活動で受け取った協賛金からの支出。
合計	408,939	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	42,116	合同研究発表会のポスター郵送にかかる筒代、その他事務用品
謝礼	30,000	15,000 円 / 団体 × 2 団体
印刷製本費	109,243	学びの場事業、合同研究発表会でのチラシ・ポスター代
通信運搬費	21,986	切手代、合同研究発表会のポスター郵送費など
役務費	12,016	銀行振込手数料、送料、代引手数料等
使用料・賃貸料	52,048	学びの場事業でのノートパソコンモバイル wi-fi ルーターレンタル代、展開・発展の場での機材レンタル料
旅費・交通費	36,530	市内移動費、札幌への移動費
小計	303,939	
対象外経費		
研究助成費	105,000	35,000 円 / 団体 × 3 団体
小計	105,000	
合計	408,939	